

名称 IM (Integrated Monitoring)

日本語名 統合モニタリング

親機関 北欧大臣会議

住所 Nordic Council of Ministers, Store Strandstraede 18, DK-1255, Kopenhagen K.

国名 DENMARK

電話 — — —

ファックス — — —

---

1. タイプ：国際モニタリング計画

2. 地理的範囲：北欧諸国

3. 目的

北欧5カ国（フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク）は土壌、水の酸性化、森林減少と富栄養化、近海での過剰漁獲などに関する環境問題に関係するIM（統合モニタリング）を共同で実施している。IM計画は、北欧大臣会議（Nordic Council of Ministers）の環境委員会によって支持され、現在モニタリングのワーキンググループの援助のもとに実施されている。IMの枠組み内に多くの計画があるが、これらは相互に調整されており、種々の研究所・機関間の標準化された方法を開発することを奨励することを意図している。スウェーデンの生態学研究所が暫定的事務局となっている。1993年以降には、計画が変更され、UN/ECEとの協力関係が強まる。

4. データ管理

統一された方法を用いて大気、水、植生、土壌、重金属についてモニタリングが進行している。IMモニタリングは、小流域で構築されるが、1992年1月に見直された欧州プログラムとしても機能している（UN/ECE内のパイロット計画）。

重金属の沈積状況調査は、1985年に2回実施された。1990年以降が印刷されている。1990-1991年には多くの欧州諸国を巻き込んで重金属調査を行った。特別報告が数カ月後に出版される。

基本的なデータは各国の責任で収集管理されている。例えばスウェーデンのデータに関しては一般が利用できる可能性は低い、現在スウェーデン環境庁で再検討中である。IMからの集計された北欧、欧州のデータはヘルシンキの環境データセンター（EDC）で収集されている。これらのデータはすべての参加国で比較的容易に利用可能である。問合せ先は、

Dr. Guy Soderman, Chief Data Inspector, Environmental Data Centre, P.O. Box 250, SF-00101 Helsinki

5. 協力関係

協力活動は、主として北欧大臣会議のメンバー国とその国立の環境研究所一機関間である。しかしEDCは北欧とECE-IMPのIM計画のデータ管理に責任がある。このレベルでは、他のモニタリング計画等と協力関係がある。

6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.

Nordic Council of Ministers, 1988: Survey of Atmospheric Heavy Metal Deposition, 44 p.

Working Group for Environmental Monitoring, Nordic Council of Ministers, 1988: Guidelines for Integrated Monitoring in the Nordic Countries, 61 p.